



令和6(2024)年

12月 保育園だより

あいじ福祉会 黒部愛児保育園

TEL 52-4516

あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

雄大な立山連峰が白くなり、冬の訪れを感じます。

今年は、元日に起こった地震や豪雨による災害が身近に起こり、改めて自然災害の恐ろしさ、防災意識を高める大切さを感じる年となりました。次の新しい年が穏やかになるよう、大掃除を行い、年神様をお迎えしたいと思います。



2(月)	交通指導 毎月1日、15日は年齢に適した交通ルールを学びます フレンズタイム	20(金)	避難訓練 毎月1回、災害を想定した避難訓練を行います。
		23(月)	フレンズタイム
		24(火)	年末お楽しみ会
3(火)	親子ふれあいデイ 0歳児ひよこ組	25(水)	天神様をお迎えする日 命ありがとう パパママデイ 10:30～
4(水)	親子ふれあいデイ 1歳児りす組		
5(木)	親子ふれあいデイ 2歳児うさぎ組 ※3日間とも 15:45～16:15		月のお誕生会をみんなで祝いします。※主食いりません。 ※感謝の日 3園合同研修会 18:00～ 早めのお迎えにご協力、お願いします。
9(月)	フレンズタイム		
11(水)	キラキラキッズ取材 PM 5歳児	26(木)	もちつき 5歳児らいおん組 三日市保育所にて参加
12(木)	イングリッシュタイム 10:30～ ブライアン先生、りえ先生		
15(日)	3015 食品ロス使い切りの日 (30日も) あいじ家庭の日 (至21日)	27(金)	布団乾燥日 ＜1月の行事予定＞
16(月)	フレンズタイム 交通指導 身体測定 (至20日)	6(月)	新年の集い ※職員研修会 18:00～ 18:00までの保育とさせていただきます。 ご協力お願いします。

保育・教育

『育てたいあいじっ子の姿』の1つに、“自分からお手伝いする子”があります。
今回は、保育園での子ども達のお手伝いの様子をお知らせします。

0歳児 ひよこ組

保育者が掃除をする様子を見て、一緒に掃除機を持ったり机を拭こうとします。そこで廃材を使い、クイックルワイパーを作りました。家庭で使用している風景をみているのでしょうか。床や窓を嬉しそうに拭きます。小さな子は、その様子をじっと見つめ「貸して、ほくもやってみたい」と、触ろうと手を伸ばします。また、調理室におやつや食事の食器、牛乳パックなどを返却しに行き、調理師の「ありがとう」の一言に、自分もぺこりとお辞儀をしてにっこり笑います。お手伝いというより、大人のまねっこをやりたい。そして、「ありがとう」と言われることに喜びを感じ、またやりたいという感覚を楽しんでいます。

2歳児 うさぎ組

園庭のブランコや鉄棒の下にマットを敷いています。保育者がその準備をしていると、「僕も持ちたい」「私も」とやってきます。「お手伝いしてくれるの?じゃあ、Aちゃんはこっち持ってくれる?」とお願いすると、“喜んで!”という表情です。保育者の「ありがとう。助かるよ」「またお願いね」という言葉が喜びとなり、それを聞いていた他の子も、“今度は僕が”と連鎖しています。“させる”のではなく、遊びの延長として「やってみたい」の思いを大切にしていきたいと考えています。

4歳児 くま組

食後「先生、床拭こうか?」「私も」と雑巾がけをしながらの会話です。

Aちゃん:「家でも、お兄ちゃんとするん」

保育者:「そうなんだ、お母さん、何て言ってた?」

Aちゃん:「ありがとう。助かったよって言った」「A、嬉しかった」

保育者:「そっか、2人共、いい気分だったね」

子ども達は大人から、「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉で伝えられることで、自分が家族のために必要とされていると感じているようです。このように「ありがとう」と人に感謝されることで自分もその経験から人に優しくしてあげようとする心につながっているようです。

1歳児 りす組

日頃から、「先生のお手伝いしてくれる?」と伝えると「うん」と頷き、喜んでしてくれます。そのお手伝いとして、①登園した子のカバンを受け取り保育者の所まで運ぶ ②タオルやエプロンを配る ③おしぼり袋を保育者の所まで持って行く ④「これ(玩具)おうちに返ってきてくれる?」などです。どれも、子ども達にとっては“お手伝い”というよりも遊びの続きとして楽しんでいます。保育者が、「ありがとう」「嬉しい」と気持ちを伝えることで、どの子も笑顔になります。(周りの人が)喜んでくれる＝自分の喜びにもつながっているようです。

3歳児 いぬ組

友達の姿や保育者のしていることを見て、「先生、何してるん?」「OOも一緒にしようか?」「お手伝いするね」と、机を拭いたり、椅子を出したり片付けたりなどしてくれます。また、「トイレの紙(トイレットペーパー)なくなったから、新しいの入れといたよ」「ここ、濡れているから、タオルで拭いたよ」「OOちゃん、お手伝いしようか?」と、自分で気付き行動をしています。「OOちゃん、OOしてくれてありがとう」と、子ども達の気付きやお手伝いをしてくれたことを具体的に誉めながら、気持ちを伝えていきます。

5歳児 らいおん組

5歳児に進級した春、子ども達が話し合って決めた『6歳の力』の一つにお手伝いする力があります。日々の生活を通して友達との繋がりが深まり、共通の目的に向かってクラス全体で取り組み、達成感を味わう経験をしています。これらの生活経験の中で、友達に「OO教えてあげようか?」「一緒に持とう」「使ってないけどお片付け手伝う!」等の会話が聞かれます。友達と一緒に工夫したり協力したりすることで得られる充実感や、友達に必要とされる喜びを感じられるよう、一人ひとりの良さを認め合えるクラス作りに努めています。そんな小さな日々の積み重ねが、家族の一員としての存在感、人の役に立つ喜び、自己肯定感、生きる力につながることを願っています。

